



2022 年 7 月 4 日
社会福祉法人清流
さつきの家
施設長 小川裕子

「さつきの家」だより

7 月です！いつのまにか梅雨も去り、ギンギンの太陽がキツイ酷暑の夏がやってきました。「さつきの家」が、五月が丘に開設して 3 か月経過しました。仲間が元気に毎日通ってきてくれています。職員も元気に通ってきています。みんなの元気に、感謝♡

～生活を積み重ねる～

4 月・5 月・6 月と、日々を重ねてきました。4 月新型コロナ感染で、当たり前になんか通えることの大切さに気付かされました。5 月・地域みなさんに声をかけていく勇氣を持つこと、支えてくださる保護者・応援団みなさんに感謝することを学びました。6 月「働くこと」の楽しさをみんなで味わいました。ささやかな初給料も渡せました。自分自身、健康であることの大切さも感じました。

4 月久しぶりに出会った仲間たち。私には、彼らが小さな頃「なぎさ園」（広島市西部こども療育センター）で、幼児期の日々を共に重ねた子ども達との再会でした。「みんな大きくなったね。どんな経験をしてきたのかな。」週末の余暇では時々逢っていたけれど、‘日々を重ねていた「学校」での「生活」はどんなだったのだろう’を想像し、余暇では見えない部分を問いかけてきていました。排泄はどうしてた？食事は？道具は何を使っていたかな？姿勢変換は？どんな言葉をかけてもらっていたのかな？絵本との出会いは？音楽は？そう、何より「あなたの気持ち、どのくらい聴いてもらってきたのかな？」

ことばを持たない仲間の「心の声」は、日々を共にする生活の中でならば、前後がわかるからこそ理解（想像）することが出来ます。「わかってもらえた。」の実感、次の要求につながっていきます。「おしっこ出そう。」「のど乾いたよ。」「お腹すいたな。」「いいなー、私だって行きたかった。」「私も負けたくない。」「今日何する？楽しみだよ。」etc…

もし、私があなただったら…、共に生活をしている中で、同じ姿勢をとってみて思いを探ることが出来ます。そんな動作をしている時、ふと、見送った母親を思い出します。認知症で寝たきりになった母さんの気持ちを私はどのくらい共感しようとしていたかな。きっといっぱい不十分だった。申し訳なかったな。母さんにしてあげられなかったこと、この子達との生活の中で積み重ねていくから、ね。許してね。「生活」って、深いです。

2022 年夏「きょうされん」への販売協力、及び自主製品へのご協力

ありがとうございました！！本当にありがとうございました。

（きょうされん＝日本の障害者に対する支援をする事業所の全国連絡会）

きょうされん夏の販売への協力、本当にありがとうございました。総計 22 万円もの売り上げをすることが、みなさまのおかげで出来ました。売り上げの一部が「さつきの家」の収入になります。みんなのボーナスにつながりました。

自主製品も、多くの注文をいただき、「うふふ♥炭」は、250 個もの注文をいただき、現在みんなで仕上げに励んでいます。これからも、どうぞよろしくお願いします。みなさんの支援が、「仕事」となって、日々の頑張り・仲間の達成感につながっています。



「いきいきポイント」について ～謝罪とお願い～



ごめんなさい。‘毎週木曜日の「さつきの家」でのパン販売に協力していただけたら、4P 押印できます’と、お伝えてしておりましたが、「仲間とお話し、仲間からかごを受け取り、ゆっくりの計算を見守ってくださる。」それだけでは「不足」でした。共に、同じ場所で、共に作業等を行ってこそそのポイント押印でした。ごめんなさい。

ボランティア募集のおねがい

仲間と共に「折鶴解体」のお仕事をしてください。

広島市の平和公園に献納された「折鶴」の解体のお仕事を受けました。再生紙にすることの出来ない柄物・金銀・シール・紐・ボタン等を外していく簡単な作業です。この作業を共にして下さる方を募集しています。その際には、ボランティア活動として「いきいきポイント」を押印させていただきます。



※「さつきの家だより」は、地域のみなさまに理解していただきたいという願いを持って、定期的に発信していきます。ご意見等聞かせていただけると幸いです。

連絡先：社会福祉法人清流「さつきの家」 082-942-4778（電話）
082-942-4779（FAX）
satsuki-himawari@galaxy.ocn.ne.jp（メール）